

株式会社 松屋 2016年11月売上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	-5.2	-4.1
② 銀座店	-5.7	-6.3
③ 浅草店	0.4	-0.4

- ① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
銀座本店	5.4	9.0	6.2	-2.2	-7.0	-10.9	-10.3	-7.1	-17.5	-13.1	-10.2	-5.2
松屋銀座	6.1	10.2	6.6	-2.1	-7.0	-11.1	-10.7	-7.5	-18.5	-13.5	-10.5	-5.7
松屋浅草	-2.1	-5.6	0.8	-3.0	-7.2	-8.0	-5.1	-1.6	-4.4	-7.3	-5.2	0.4

3. 店舗別商況

銀座店	銀座店は、引き続き前年のインバウンド需要の大きな反動もあり、売上高は前年実績に及びませんでした。国内のお客様の売上高は前年を上回りました。また、8階イベントスクエアの新規催事『GINZAアロマフェア』が好評を博し、女性のお客様を軸に新たな顧客獲得に寄与いたしました。お歳暮ギフト商戦は、繁忙期を迎えギフトセンター・外商受注を含め、売上高は前年を上回り好調に推移しております。商品別においては、コートの売上高が前年を超え、ストール・ファー・手袋など防寒雑貨も好調に推移いたしました。食料品では、和洋酒・ワイン等の堅調に加え、リニューアル後の和菓子売場も好調に推移し、食料品全体で売上高が前年実績を上回りました。
浅草店	浅草店はお歳暮ギフト商戦、婦人衣料、化粧品が好調に推移し、9か月ぶりに売上高は前年を上回りました。

4. 商品別売上高対前年増減率

(単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	-6.3	-6.3
婦人服・洋品	-2.0	-2.8
子供服・洋品	-6.7	-6.7
呉服寝具他	-24.5	-25.6
衣料品計	-4.5	-5.1
身廻り品	-13.7	-13.7
雑貨	-2.7	-2.6
家具	-25.0	-25.1
家電	-31.5	-31.5
家庭用品	-3.9	-4.3
家庭用品計	-17.4	-17.6
食料品	-1.1	-0.6
食堂・喫茶	-1.6	-1.6
サービス、その他	69.1	67.3
合計	-5.2	-5.7

商品別概況(銀座店)

- *紳士服・洋品は、防寒手袋等の紳士雑貨が好調に推移いたしましたが、売上高は前年に届きませんでした。
 *婦人服・洋品は、コートを軸とした防寒衣料が好調に推移するも、売上高は僅かに前年を下回りました。
 *雑貨は、化粧品の売上高が二桁増となり全体を牽引するも、時計・宝飾が前年の大きなインバウンド売上を超えることが出来ず、売上高は下回りました。
 *食料品は、和洋酒が好調に付き全体を牽引するも、売上高は僅かに前年を下回りました。
- (特記事項)
 *特にございません。